



2017年度 年主題〈愛されて育つ〉

0・1・2歳児12月主題 「まもられて」
月のねがい
◎神さまを身近に感じる
◎友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなる
◎伝承遊びにふれる
◎神さまがそばにいてくださることを感じる
◎まわりの子どもや保育者とかかわって遊ぶ

3・4・5歳児1月主題 「守られて」
月のねがい
◎神さまが守り導いて下さることを知る
◎繰り返し取り組む事で、原因を見つけたり、コツをつかんだりする
◎健康に過ごすための生活習慣を身につける



新しい年がスタートしました！

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。お天気にも恵まれ、行楽やお洗濯にも良い日和でしたね。

昨年12月に、鹿屋体育大学の森先生による教育講演『子どもたちの体の発達について』、また福岡で『年齢・発達に応じた運動あそびの実践について』のお話を聞く機会を与えられました。両講師からは共通して、「子どもたちは外でいっぱい遊ぶこと」「思いっきり自由に遊ぶこと」が何よりも大事だということを示されました。屋外でたくさん遊ぶことで運動能力が高まり、身体的な発達だけではなく、精神的な発達にもつながっていきます。また、情緒面が安定し「意欲」や「人間関係」が良好になるのだそうです。

現代は、外で遊ぶにも遊ぶ場所が限られていたり、遊べる環境が整っていないと良く耳にします。体を作る遊びが十分にできていないことでその後の育ちにも影響を及ぼします。個でも集団でも遊びが展開できる園での遊びが、一層重要となってきているとのことです。私たちに課せられている期待はとも大きく改めて思うことでした。森先生には、めいろうは子どもたちの健全な成長にとって、とても適している環境だと太鼓判を押していただきました。自分たちが取り組んでいることは、決して間違っていないのだと再認識することでした。また、両足ケンケンができる、転ばずケガが少ないことも教わりました。

また、0.1.2歳児は、「できたね！すごいね！楽しいね！やったね！」と、先生やお父さん・お母さんと共感できる応答保育の重要性も教えていただきました。冬休み、職員間でこの研修の報告会を行い、今できることからみんなでき始めよう！と3学期に向けて気持ちを新たにしたところです。

年長さんにとっては締めくくりの学期です。入学への期待も膨らんでいることと思います。園では、しっかり心の準備をし、送り出してあげたいと思います。保護者の皆様にも今学期もたくさんのご協力をいただくことになるかと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

森山

今月の聖句 「主は、あなたをまもるかた。」 詩篇 121:5

新年のお慶びを申し上げます。あわせて、子育て中の皆様の上に神様の祝福と加護がありますようにお祈りいたします。

「一年の計は元旦にあり」とは昔からの言い伝えであり、今日尚真理であると思います。一年の計を建てるにあたり、重要なことは何を基準に立てるかです。冒頭のことはその答えを示していると思います。創造主である神がいつも守っておられるので、「神の思いをわが思いとする」ことが、平和と自立の基本になります。人生は「選択」の連続です。成功も失敗も出発点は自らが良かれと信じて選んだ結果です。結果を反省分析し、次の選択に活かすことが一般的です。それでも再三、再四失敗することがあります。それは、自己の基本的欲求が利己的で他人を喜ばすことを考えないからです。神は「自分のことばかりでなく、他人のことを考えなさい。」「隣人を愛しなさい。」と教えておられます。是非、参考に致しましょう。また、今年は NHK 特別番組で「人体は巨大なるネットワーク」というキーワードで放映されます。これは人生観をかえるほどの内容となることでしょう。是非、ご覧になって、一年の計に厚みを加えましょう。

前理事長 池田公榮

1月の行事予定

9日(火)	3学期始園式(1号:午前保育)
18日(木)	おゆうぎ会予行 ※お弁当
27日(土)	おゆうぎ会
29日(月)	1号振替休日(2・3号希望者)
30日(火)	1月生まれ誕生会
31日(水)	持久走大会試走

2月の行事予定

1日(木)	まめまき
3日(土)	持久走大会(1歳児以上9時～)
5日(月)	持久走大会予備日
14日(水)	冬の一日遠足 ※弁当日
20日(火)	2・3月誕生会
27日(火)	シオンの仲間大会
28日(水)	参観日(たんぼぼ・すみれ)
1日(木)	参観日(こすもす・あじさい)

「いんごの詩」より 小二男児

はじめのぼきん
このおかねは
おおいかも
しれないけど
すくない
かもしれない
だけど
ぼくの
まんばいの
きもちだ

2・3号認定児 新規入園申込受付期間
1/31(水)～2/2(金)
定員に限りがあります。お早めに市福祉事務所へお申込み下さい！
必要書類は園にもございます。

クリスマス☆バイキング



ゆうぎ発表会



おゆうぎ会



おゆうぎ会



おゆうぎ会



持久走試走



持久走試走



新年明けましておめでとうございます。皆様ご健勝の内に、二〇一八年(平成三〇年)をお迎えになられたこと存じます。本年も、皆様にとつて希望に満ちた素晴らしい年でありますよう心からお祈りいたします。

今年十二支の十一番目になる戌年です。六十年前の戌年(昭和三十三年)には、今上天皇のご婚約や東京タワーが竣工しました。その後も戌年は大きな出来事が多くあり、変革の年でも言われていたようです。ちなみに私は一月生まれで亥年ですが、同級生たちは一足先に選ばれるや定年を迎えていくの、否が応でも変革の年としかねると思っております。

「たとえ世界の終末が明日であらうとも、私は今日、リンゴの木を植える。」ルーミアの作家、コンスタンチン・ゲオルギウの言葉です。希望というこの本質を的確に語った言葉のように思います。世界の終末を目前に、何年後かに実を結ぶリンゴの木を植えることは無意味な営みだとも言えますが、敢えてそれが出来るのも人間だということです。たとえ楽天主義と言われなくても、絶望より希望に生きる方が、より人間的な姿ではないでしょうか。明日という日がなくなってもリンゴの木を植える、たとえ希望がなくても明日という日があれば、二つの言葉は奥底で繋がるとも思います。幼き日にこそ、達成感や挫折感を経験することによって、他者への思いやりと自分自身を励ます力を育んでいきたいものです。

さて、数年前から幼児教育の無償化への動きはありましたが、今回の衆議院選を経て、保育の無償化まで政策のパッケージに入ることになりました。もちろん、子育て世代の負担軽減については、誰も異論はないと思えます。しかし、待機児や保育者不足の解消が進まないまま、所得制限のない無償化に立入れば、保育現場が一層混乱することは明らかです。報道でご存知のとおり、全国的に保育者が不足しています。県内でも郡部、中でも離島の保育者不足は危機的状況と聞きます。我が園の二園は、現状では何とか運営できておりますが、退職や育休が重なれば、園児の受け入れも相当厳しくなります。特に新卒の保育者(幼稚園教諭・保育士)が帰郷せず、数年与えられないのが大きな課題となっております。何とか知恵を絞って人材確保に努めて参ります。聖書に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」とあります。いかなる状況でも希望の光を灯してくださる神様に感謝です。三学期は、年長児にとつても園生活最後の学期です。幼児教育の仕上げの時でもあります。それぞれの子どもたちにとつて、思い出深い魅力いっぱいの日々を過ごせるよう努めてまいります。保護者の方にも行事等でご協力をお願いすることになります。本年も宜しくお願いいたします。

今井和子先生の「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」より「1歳児 いたずらばかりする」

悩み 毎日いたずらばかりで ほとほと困っています

行動の意味 小さな科学者が一生懸命学習している姿です

ティッシュを何枚も引き抜いたり、タンスの中身を床に全部出しちゃったり。いたずらは、興味、関心、好奇心の賜物で、探究心の旺盛な小さな科学者が、頭の中で「これはどうなってるの?」と、考えながら学習している姿なのです。手は突出した脳ともいわれるように、その動きに子どもの興味が表れます。自分の要求に従って行動することで、自分のやりたいと思ったこともやれるんだという意識が芽生え、自発性が育っていきます。いたずらをくり返すことで、同時にものを扱う力も育っていきます。

対応法 たまには大目に見て、やらせてあげましょう

子どもが目や顔を輝かせて夢中になっていたり、自分の世界に没頭している様子があるのなら、子どもの成長のために大目に見てあげること大切。いたずらを否定して厳しく叱ると、だんだん自発性が育たなくなり、自分からいろいろなものに対して働きかけなくなります。

「これくらいだったら、やってもいいかな」ということは、許容してあげましょう。ただし、いたずらされて困るものは、なるべく子どもの手の届かないところにしておくこと。また、危険なことやどうしても困ることはやめさせる必要があります。その場合、単にダメというのではなく、「お花抜いちゃったら、植えたおばあちゃんが悲しがるよ」など、なぜダメなのかを真剣に訴えることが、思いやりの気持ちにもつながります。

